

港区立高陵中学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	① 言語に関する知識・理解・技能の項目が、他項目と比べ低い。語彙力等に課題がある。 ② 「表現力」に課題がある。言葉の意味や働き・使い方を考えながら、言葉を使って表現していく力が弱い。
社会	① 関心意欲態度が他項目と比べると低い。 ② 日本に農業や水産業に関する知識・理解に課題がある（1年）
数学	・ グラフなどの作図問題の正答率が低い。 ・ 数学の知識を活用して表現する問題が弱い。
理科	・ 自然現象への関心・意欲・態度の観点別正答率が他と比べて低い。 ・ グラフなどの作図問題の正答率が低い。 ・ 重要語句を説明するような、自分の言葉で表現する問題に弱い。
外国語	・ リスニングに自信の持てない生徒がいる。 ・ 長文を読み、問題を読み込み、理解し、正確に解答する力が不足している。 ・ 条件を与えられ、その条件にそって表現する課題に弱い面がみられる。

2 各教科の具体的な授業改善

国語	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・「言葉」を理解する能力 ・「言葉」で表現する能力	・ 各単元の最初の授業において、注意する語句や新出漢字の意味調べ学習を徹底させる。(授業内で調べ学習の展開や宿題、自主学習課題として) ・ その語句や語彙を活用し、作文練習を行う。また、それらを使った発表等を行わせる。

社会	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	関心・意欲・態度	・ 生徒のキャリアにかかわったり、最先端の技術を活用した取り組みに関する事例を教材化して、授業を展開する。 ・ 話し合い活動や調べ学習の際に、学びの必要性やどのような力が身に付くのかをより納得できるように説明する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	・ 数学的な見方・考え方	・ 問題に対して数学的に活用する力を育成するために、問題に対して、個人で考える時間を設けて、そこから集団で検討する時間を設けて、様々な視点で問題を解決するようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・ 表現する力	・ 表現力の育成について、学習した用語の意味を自分の言葉で説明する場を設ける。また実験についても、ワークシートを利用しながら自分の言葉を使って考えをまとめ、表現する機会をより多く設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	表現したいイメージをもち、お互いに言葉で伝えあいながら曲を演奏する力。 様々な曲について説明や嗜好を伴い、聴くことができる力。	・ 各指導事項において必ず、「なぜ」という問いを投げかけ、表現活動の教え込みにならないようにする。 ・ 生徒がより良い表現活動を探究できる時間を確保する。 ・ さまざまな音楽に触れるようにし、領域の偏りを防ぎ、多くの音楽体験の機会を取り入れる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	・ 造形的な見方、感じ方を深め創造的に表現する能力の育成。 ・ 豊かに発想し、構想を練って主体的に表現する能力の育成。	・ 作品鑑賞の機会を増やし、自他の作品への理解を深めたり、社会や生活と美術の関わりについて興味を持たせる。 小作品やアイデアスケッチを用いて「知識・技能」「発想・構想の能力」の育成を図る。また、自らの制作意図を考えたり、説明することで主題を明確にし表現につなげていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	・ 言語、非言語によるコミュニケーション力 ・ 動作イメージ力 ・ 体力の向上	・ ペア学習やグループ学習を取り入れ、個人やグループの課題を解決する授業を展開する。 ・ ICT 機器を活用し、動きを客観的に捉えられるようにする。 ・ 準備運動後の補強運動やゲーム等で運動量を確保する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	・ プログラミング作成における論理的思考力の育成。 ・ 実技における創作意欲の向上	・ 論理的思考力の育成では、何度でも間違えられるようにし、生徒間で相談しあえるようにする。 ・ 実技においては生徒が失敗しないように各製作工程において点検を実施する。

外国語（英語・国際）	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの基本的な 4 技能を高めることを目指す。	・語彙力の強化を図るため、授業の單元ごとに新出単語を練習する機会を設ける。・長文理解力を高めるため、いろいろな長文を読む機会を設ける。・既習の語彙を活用し、作文力の充実を図る。・国際の授業で、リスニングやスピーキングの機会を増やし、活動を充実させる。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	自主的に考え行動する態度を養い、自律性の育成を目指す。 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心の育成を目指す。	・多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫 ・心に響く資料の選択及び活用、資料提示の工夫 ・ゲストティーチャー、ティームティーチング等指導方法の工夫 ・「特別の教科 道徳の教科書」活用の工夫

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	多様な他者と共同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。	・生徒自ら計画し、行動することを促してリーダー育成を目指して行事の実行委員等を活用する。 ・生徒会活動において、生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、話し合い活動を充実させる。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	国際理解、キャリア教育、を通して、学びに向かう力、人間性等の育成を目指す。	・国際理解については、ゲストティーチャーを招き、日本文化を体験する機会を設ける。大使館と連携し、他国との交流の機会を設ける。 ・キャリア教育については、地域と連携して職業講話を聴く機会を設ける。